

## 「京都・伏見におけるコンテナラウンドユースの取組み」



郵船港運株式会社  
物流営業部 物流企画課  
北川 美昭

1



## 会社概要

- ◆ 本社 大阪市西区阿波座1-4-4  
野村不動産四ツ橋ビル9階
- ◆ 設立 昭和42年9月28日
- ◆ 資本金 1億円(授權資本4億円)
- ◆ 従業員数 137名(平成27年8月現在)
- ◆ 事業内容 (1)港灣運送事業  
(2)貨物利用運送事業  
(3)船舶代理店業  
(4)海運仲立業  
(5)通関業  
(6)倉庫業



2



# 事業の背景

■物流の効率化を推進するにあたり、下記4点が課題として挙げられます。  
現在、対策の一環として荷主企業と連携したコンテナのラウンドユースを進めており、その内陸拠点として伏見インランドコンテナターミナル(略称:FICT)を設立するに至りました。

## 物流コストの削減

空コンテナ回送距離短縮による、コンテナ輸送コストの削減

## CO2排出量の削減

空コンテナ回送距離短縮による、CO2排出量の削減

## ドライバー不足の解消

配車の効率化による、ドライバー不足の解消

## 港湾地区の渋滞緩和

空コンテナの返却/引取場所を港湾地区から内陸へ移すことによる港湾地区の渋滞緩和

3



# 事業拠点

近隣エリアの荷主企業同士でないとマッチングが難しいのが現在の関西地区のラウンドユースの現況です。FICTの設置により、関西の荷主企業、特に北大阪や京滋地区に物流拠点のある荷主企業の幅広いマッチングが可能となります。

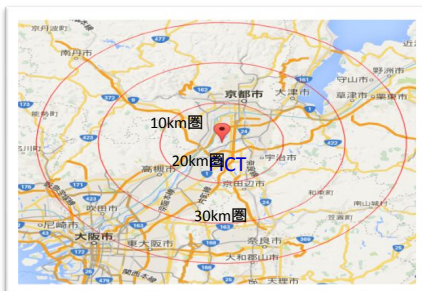
## 立地

**場所:** 京都府京都市伏見区横大路龍ヶ池47-5

**会社:** 宝梱包株式会社

**南港までの輸送時間 :** 約1時間半

**神戸までの輸送時間 :** 約2時間



距離圏	都市
10km	京都市南部、長岡京市、等
20km	枚方市、高槻市、大津市、等
30km	草津市、守山市、等



4



# 事業の概要

■実施事業: 伏見インランドコンテナターミナル(FICT)運営

■FICTでは、コンテナラウンドユースでの利用を前提として以下の通り作業を実施しております。

・主な事業内容

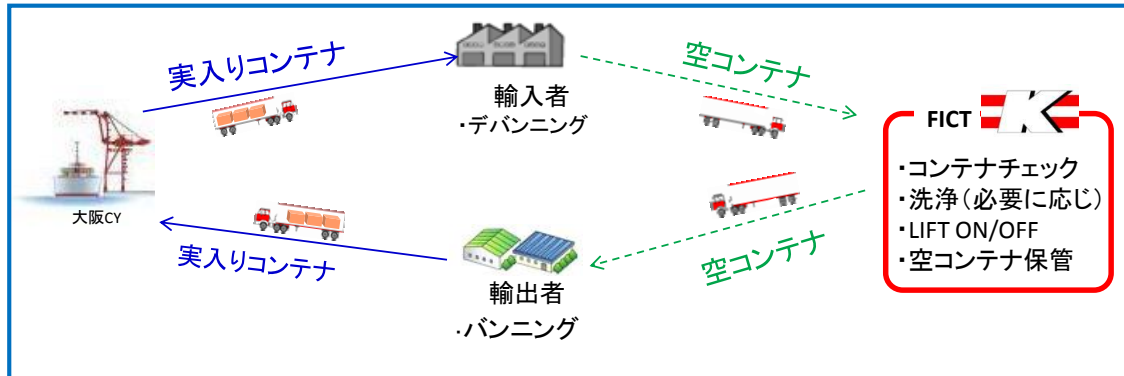
コンテナチェック(EIR発行)

空コンテナ保管

コンテナ簡易メンテナンス

コンテナ洗浄

コンテナLift-On/Off



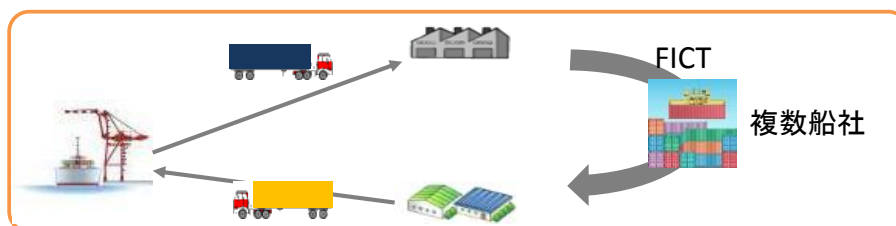
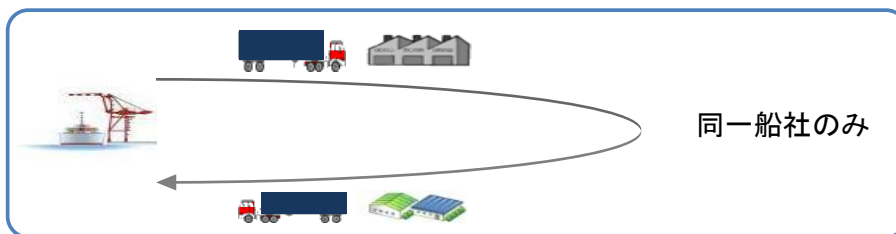
# 事業の目的

利用船社

## 同一船社利用前提から複数船社利用へ

コンテナの積み下ろしを行わないコンテナラウンドユースの場合、同一船社=同一コンテナの利用が必須条件となります。

FICTでのコンテナの積み下ろしと空コンテナ保管を実施することにより利用船社の複数化を可能にし、マッチングの確率を向上させます。



# 事業開始後の効果

## CO2削減効果実績

期間：平成27年10月～平成28年2月

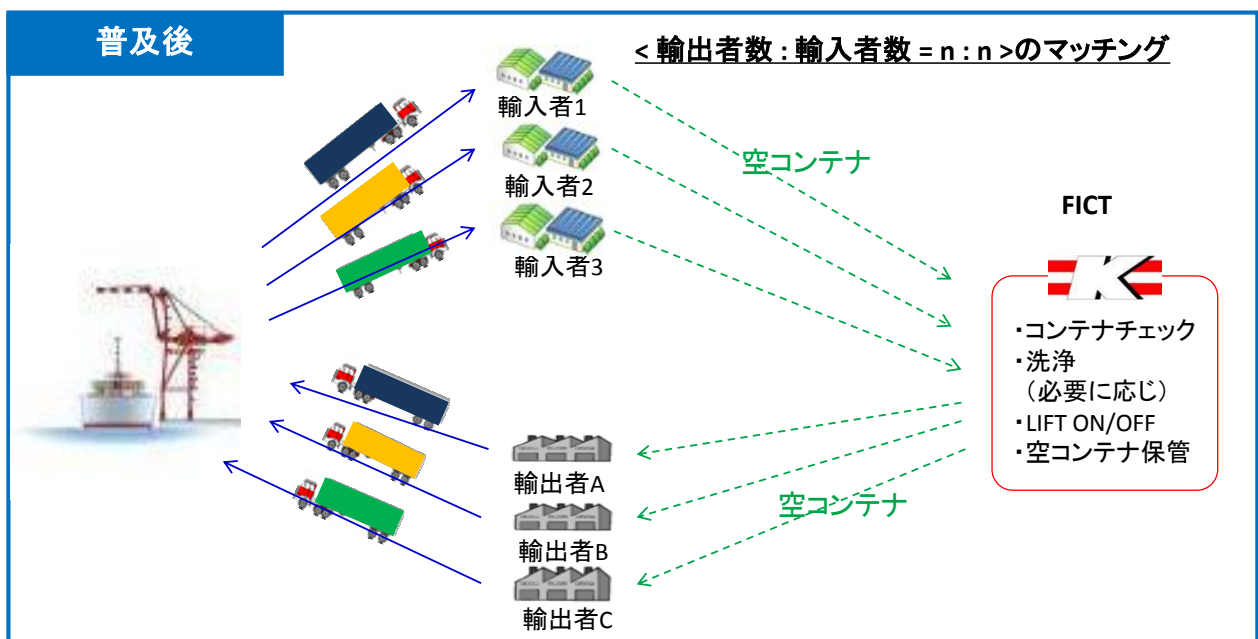
ラウンドユース実施前の各社のCO2排出量			
	輸送距離（1輸送）	コンテナ台数	CO2排出量
A社	328.2km	138.0台/40HQ	1,222,873.2ton
B社	171.4km	36.0台/40HQ	166,600.8ton
C社	210.4km	11.0台/40HQ	62,488.8ton
D社	285.8km	7.0台/40HQ	54,016.2ton
E社	152.6km	4.0台/40HQ	16,480.8ton
合計			<b>1,522,459.8ton</b>

インラドデポ利用のラウンドユース実施後の各社のCO2排出量			
	輸送距離（1輸送）	コンテナ台数	CO2排出量
A社	241.6km	138.0台/40HQ	936,054.0ton
B社	116.9km	36.0台/40HQ	119,512.8ton
C社	128.0km	11.0台/40HQ	40,735.2ton
D社	199.2km	7.0台/40HQ	39,467.4ton
E社	132.6km	4.0台/40HQ	14,560.8ton
合計			<b>1,150,330.2ton</b>

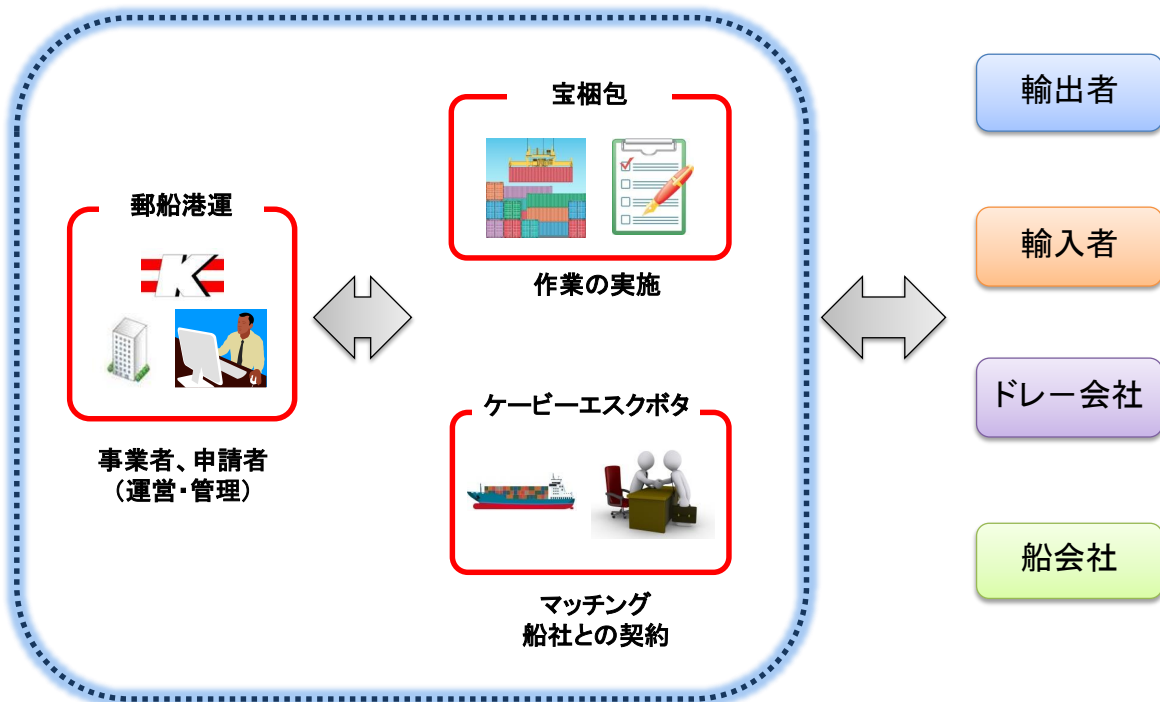
CO2削減効果	<b>372,129.6ton</b>
---------	---------------------

# 今後の事業展開

今後も北大阪・京滋地区の幅広い荷主企業へ普及活動を行い、  
 <輸出者数：輸入者数 = n:n> の幅広いマッチングの実現を目指します。



# 実施体制



ご清聴ありがとうございました。

